

西宮市議会議員

たかのしん

政党無所属・32才

- ◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
- ◆元・阪急不動産（株）/阪急阪神不動産（株）勤務



◆公用車の維持管理コストを縮減するべきです！

大切な政策に予算を投入するために、財源の捻出に向けた具体策を提言しています。

■公用車の保有台数が多すぎます！

私は、教育・子育て支援・福祉・防災等の施策を充実させるため、財源確保に向けた取り組みが重要と考えています。3月議会では、年間7,000万円以上にのぼる公用車の維持管理経費を縮減するため、利用の適正化や車両配置の見直しを提言しました。本市が保有する公用車は、2020年度時点で330台。これは人口・面積等が類似する高槻市の2倍近くであり、過大な水準であることは明らかです。

◇公用車保有台数の比較（2020年度）

	台数	人口	面積
西宮市	330台	486,799人	101.18km ²
高槻市	172台	351,019人	105.29km ²

※給水車・消防車等の特殊車両を除く。

■利用の適正化と車両配置の見直しを！

保有台数が多いことの背景には「車がなくても実施可能な業務」にまで、公用車を利用している実態があります。私が運転日誌を調査したところ、

- 荷物の運搬等を伴わない片道2km以内の移動
- 公共交通機関を利用できる駅前施設への移動
- 運転手付の公用車を市内での軽易な移動に利用

等の不適正な利用実態が明らかとなりました。現在、市は公用車の詳細な利用条件を定めておらず、まずは規程の明文化が求められます。

各部署に割り当てられている専用車については、

- 3ヶ月間で3日しか利用されていない
- 複数の車両が配置されているが、稼働している時間帯がほぼ重複していない
- 複数の部署が入居する複合施設において、それぞれの部署に専用車が配置されている

等の非効率な配置が目立ちます。こうした部署では専用車の廃止や統合を進め、台数の削減を図るべきです。

■全庁的な方針の策定が必要です。

保有台数の削減は、各部署の判断に委ねるのではなく、市全体で統一された考え方に基づいて進めるべきです。組織の縦割りを排し、具体的な方策やスケジュールを提示する必要があります。

私の指摘に対し、市は基準や方針の必要性を認め、保有台数の適正化に努める考えを示しました。引き続き状況を注視し、必要な指摘を行ってまいります。

■PROFILE / 鷹野伸（たかのしん）

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在1期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。

【お問い合わせ先】 mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

◆失態続きのコロナ対応に、徹底的な検証を！

鍵を握るのは政策決定過程の透明化。同じ失敗を繰り返さないよう、抜本的な改善が必要です。

■本市のコロナ対応における問題点

国内で初めて新型コロナウイルス感染症の発生が確認されてから、2年以上が経過しました。この間、市は感染症への対応のみならず様々な施策を実施してきましたが、中には問題が噴出した事案も多く存在します。依然としてコロナ対応が続く中、一連の取り組みについての検証は欠かせません。私は本会議で以下の事例を取り上げ、市当局の見解を質しました。

①情報発信のあり方

正確で迅速な情報が求められる中、即時性や市民感情への配慮を欠く事案が続発。「どの情報を、どのタイミングで、どの媒体で発信するのか」という統一的な基準や考え方方が存在せず、学校園の臨時休業等において、市民の大きな不安を招いた。

②ワクチン接種の初回予約

2021年5月、高齢者を対象にしたワクチン接種の初回予約において希望者が予約に殺到。「電話もインターネットもつながらない」「すぐに予約が埋まってしまう」「個別接種可能とされている医療機関なのに受け付けてもらえない」等の大混乱が発生。調整・広報の不足や想定の甘さが露呈した。

③ワクチン接種促進事業

2021年10月、若年層対象のワクチン接種促進事業としてコーヒー券を進呈。1,500万円もの予算が計上されたが、配布数・利用数ともに想定を大きく下回った。事業費に占める事務経費の割合も高く、費用対効果の低さが浮き彫りに。コーヒーは好みの分かれる飲料であり、より多くの方にとって魅力的なノベルティを選定すべきだった。

④簡易給食

2020年夏、一斉休校で減少した授業時数を確保するため、例年なら夏季休業中である期間に午前中授業を設定。小学校では給食室での調理を伴わない簡易給食（パン・チーズ・牛乳等）のみを希望者に提供した。近隣市の多くが通常の温かい給食を提供しており、大きく見劣りする対応に。

⑤ICT教育

2020年度末に全児童・生徒へのタブレット端末配備が完了したが、活用状況は学校・学級により大きく異なる。第6波では、感染者・濃厚接触者となる子供や登校に不安を感じる家庭が増加したが、オンライン対応の不十分な事例が散見された。

⑥事業の執行体制

市役所では保健所・ワクチン接種・給付金支給等の事務に多くの職員が動員されている。コロナ対応をスムーズに進めるため、不要不急の業務を停止する方針が示されたが、取り組みが不十分。

■政策決定過程に異議あり！

私はこれらの失態が続いた原因に、意思形成過程の問題があると考えています。市民生活に直結する政策には多角的な検討が欠かせませんが、幹部職員の集まる感染症対策本部や政策調整会議において、これらの事案についての具体的な議論が行われた形跡はありません。担当部署や一部の幹部だけで決定するのではなく、オープンな場で議論を深めることが重要です。包括的な検証の際にはこうした視点を盛り込み、本質的な課題を明らかにするよう求めました。今後も市のコロナ対応に厳しく向き合い、職責を果たしてまいります。

政策実現！～内部公益通報制度が見直されました～

私は昨年3月議会において、市職員が職場の不正や法令違反を通報する内部公益通報制度が十分に機能していないことを指摘しました。不祥事が多発しているにもかかわらず、制度がほぼ利用されていない背景には「通報すると昇進・異動等で不利益を被るのではないか」という不安があると考えられます。私は通報事実の調査や是正措置の提言を行う調査委員会に、副市長・総務局長といった市役所内部のメンバーが含まれていることを問題視し、弁護士等の第三者のみで構成するよう求めました（市政報告第8号で特集）。私の指摘を受けて市は制度の見直しに着手し、本年4月から調査委員会の構成員が市役所外部の委員のみに変更されました。市の取り組み姿勢を評価とともに、引き続き不祥事の防止や風通しの良い職場環境づくりに向けて、具体的な提言を行ってまいります。

